



図書館だより 6月

四日市メリノール学院図書館

今月の初めから来ていた、きょういくじっしゅうせい教育実習生も実習を終えて各大学に戻りました。HRや教科で接する機会があったと思います。高校生にとっては、目指している学校の具体的な大学生活の様子が聞けますし、学校は違っても大学の勉強や生活など話が聞ける良い機会だったのではないのでしょうか。実習生から得た進路についての話をきっかけに自分の進路について考えてみましょう。今、大学をはじめ専門学校などの新年度の資料が続々と届いています。じゅんじ順次、しんきゅうしりょう新旧資料の入れ替えをしていますので、是非図書館に見に来てください。また、何かわからないことがあれば、司書に声をかけてくださいね。

今月のおススメ

今年は元日から地震があり、その後も大雨など各地で災害が起きています。自然災害は防ぎようがありませんが、いざというときに「そな備えること」はできます。「そな備えること」にも様々なものがありますが、その中で「自分たちができる備え」の中に「食料」があります。人が生きていくために、食事をすることは重要なことです。そして、食べたり飲んだりすれば必ず「はいしゅつ排出する」ことになります。しかし、ひなんじょ避難所等での共同生活では「ゆったりトイレにこもって用を足す」ことがなかなかできません。トイレ利用の為に行列に並ぶのも辛いし、ゆっくり用が足せないし、というのでトイレ利用を減らすために、水分や食べ物を摂るのを控えて体調を崩す人もいます。そこで、今回紹介するのは「食べて出す」ことに注目した本です。

一見、当たり前前に感じる「食べて出すこと」がうまくできなくなったらあなたはどうしますか？

著者の身に起きた出来事から改めて考えてみませんか？



『食べることと出すこと』

かしらぎ頭木 ひろぎ弘樹/著

医学書院/刊